

特例納付で確かな老後の受給権を

国民年金



特例納付で国民年金＝老令年金の支給を受けることができます
来年の6月30日までがチャンスです

昭和五十五年六月三十日まで

国民年金にまだ加入していない方、まだ国民年金に加入して方、保険料の納期限が過ぎて納められなかった方はそのままだにしておくとも将来老令年金の支給が受けられなくなります。このような方々を無年金者と言いますがこの無年金者を救済するために法律が改正され、時効によって納付できなかった保険料を納められる「特例納付制度」が設けられています。特例納付のできるチャンスは、昭和五十五年六月三十日までです。

国民年金の保険料を納め忘れていた方、まだ国民年金に加入していない方々は、この機会に納付または国民年金に加入して老後に備えて下さい。

国民年金の老令年金を受けるためには、二十才から五十九才までの加入期間の内、保険料を納めた期間と免除された期間を合わせて二十五年以上でなければなりません。

◎ 特例納付の対象者

① 国民年金に加入している方または加入したことがある方で時効によって保険料が納められなくなっている滞納期間のある方。

② 国民年金に加入しなければならぬのにまだ加入の手続きをしていない方。

なお、特例納付できるのは強制加入の期間が対象で任意に加入した期間については特例納付はできません。

◎ 特例納付の保険料と納入期限

特例納付の保険料は、一ヶ月当り四千円を越える納付額を納める期間(月数)を乗じた額を一括に納めてもよし、分割して納めることもできます。

特例納付ができる期限は、昭和五十五年六月三十日までです。

◎ 六十才を過ぎていても特例納付ができます。

六十才を過ぎていても、国民年金に加入しなければならなかった期間があれば加入手続をして保険料の納付ができます。

また、加入はしていたが保険料を延滞していた方もその延滞期間をさかのぼって納付できます。

六十才以上の方は、未納分の保険料を納めて老令年金を受けられる期間を満たすとその翌月分から老令年金が受けられます。

尚、国民年金及び国民年金の特例納付に関する詳しいことは、町役場保険年金課・年金係にご相談下さい。電話でも結構です。

電話 五二四七二九

町民と職員の話

中央公民館での披露宴などについて

Aさん—ある町民
職員—公民館職員

Aさん—こんにちは、きょうは中央公民館での披露宴などについて二、三伺いたいのです。まず、『記念品(引出物)を出す貸さない』といった世評があります。本当ですか。

職員—いいえ、そういう案内はしていません。審議会の意向もよく見て当分見合わせております。

Aさん—この記念品について中央公民館運営審議会ではどのような見解を出しているのですか。

職員—当初公民館では許可証の欄外に『新生活運動の趣旨に協力下さい』という様式(案)を作りましたが、審議会では、『規定の一部にそう入するのは半ば強制される恐れがあり削除すべきだ。ただ、婦人会が啓蒙活動として取り組むのは大いに

よい。』ということでした。

Aさん—では、新生活運動と中央公民館事業(役割)との兼ね合いについて教えて下さい。

職員—新生活運動は他の消費者運動と並んで積極的な住民運動の範囲に入ります。

そして、住民運動というのは住民自身が主導すべきものです。から、言わば公の教育機関たる中央公民館がこれを主導するような行為は慎まねばなりません。

けれども、無放任でもいい訳はありませんので町民がある程度一致できる所から社会教育的に啓蒙を促すことは必要です。

Aさん—結局、町民自身の新生活運動への主体的取り組み、要望等が大事なんですね。

職員—その通りです。

Aさん—ところで、遠いこともあってなかなか利用しにくいのですが、利用状況はどうですか。

職員—割といいですよ。……そうですね、利用回数・人数だけに限ってみるなら、他市町村の中央公民館と較べてもそう見劣りはないはずですよ。

けれど、公民館事業だけを取り上げるならまだ充実しているとはいえないと思います。

Aさん—公民館事業といいますが職員—管理規則第5条に書かれてありますが要するに社会教育上の住民の要望に応じていくことです。

Aさん—中央公民館の社会教育事業だけで町民の需要に応じ切れるでしょうか。

職員—難しいと思います。やはりその点でどうしても各部落公民館との連携が必要になってくると思います。

Aさん—具体的にどういうことでしょうか。

職員—先程の御質問にもあったように、中央公民館は交通上余り便利な所にあるとはいえません。それに較べた各部落公民館は通い慣れた身近にあります。そして自治公民館でもありますから、皆さん自身が自由に使える訳です。

現在、中央公民館には六つのサークル、七つの講座、二つの学級がありますが、この中には各部落公民館を利用してもできるものがありますし、さらに一般的小会合の場合には、まずこの公民館でもできそうなものばかりです。

Aさん—部落公民館との連携の方法についてはどうですか。

職員—各部落の協力が前提ですが次の方法が可能だと思います。

一つは、モデル地区を設定し巡回文庫、巡回映画会等を徐々に拡大しながら直接住民の文化教養の要望に応えていくこと。

二つ目に、町公民館連絡協議会(仮称)を結成し、部落相互と中央公民館との話し合いの場を確保すること。

三つ目に、各部落の公民館担当者との研修会をもって、ともに社会教育担当者としての自覚と学習を深めること。以上ごく一般的ですが……。

Aさん—どうもありがとうございます。職員—全てにお答えできなくて残念です。

課題等を通して社会教育の全てに理解を深めながら、徐々に解決に努めたいと思います。

どうぞ、またいらっしやして下さい。

中央公民館に 公衆電話を設置

このほど、中央公民館に公衆電話(五二九七二二)が設置されました。

中央公民館を利用される一般の方々が館内で今後電話を使用する場合、又館外からの呼び出しもこの電話をご使用下さい。

各種団体、その他一般の方々もご協力よろしくお願ひ致します。



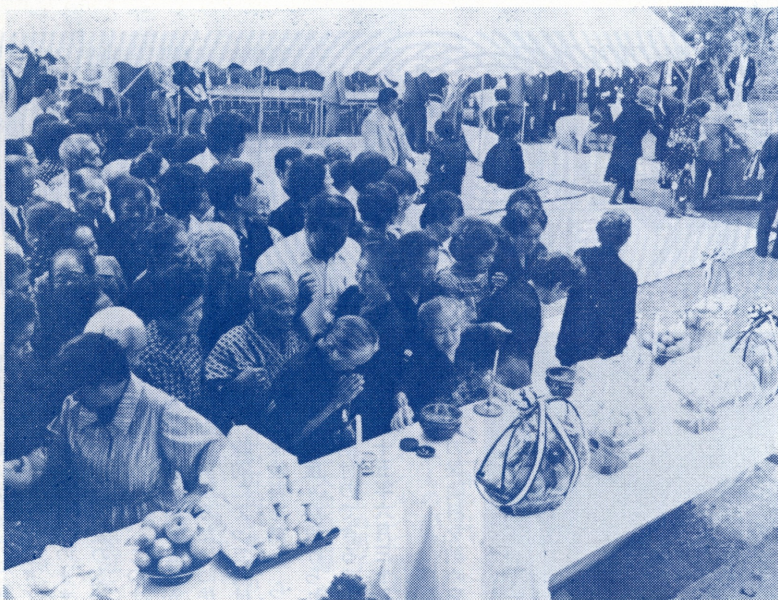
発行所
西原町役場
西原町字嘉手刈112番地
電話 (09894) 5-4533

印刷
印刷センター 大 永
電話 (0988) 67-5111-3

町の世帯・人口	
(昭和54年9月末日現在)	
世帯数	3,792世帯
人口	15,818人
男	8,041人
女	7,777人
8月の人口移動	
出生	30人
死亡	3人
転入	88人
転出	59人
婚姻	3件
離婚	1件

町慰霊祭しめやかに終る

本町では、今年も恒例の町役場主催の西原町慰霊祭が十月二十六日午後二時から西原の塔で参列者約二百人を集めしめやかに終われ、戦没者二千余柱の冥福を祈った。



一般参列者の焼香

も多数見られ、肉親を戦争で失った遺族の悲しみが三十五年を経た今日も生々しくうつつた。反戦平和の誓いを新たに、戦没者の御霊が安らかであることを祈り、参列者も西原の塔を後にしたのである。

幸地畜産共進会

大盛況

幸地畜産組合(与那嶺幸会長)では、一九五八年から毎年恒例の幸地畜産共進会を開催していたが今年も十一月六日に部落内広場で第二十回目の共進会が開かれ賑わった。

部落内では乳用牛百一頭、和牛十一頭、豚八十頭、山羊百十四頭、馬八頭で総頭数三百二十四頭が七十農家で飼育されており、その中から牛、豚、山羊の三部門で審査が行なわれ、部落、町農協、町役場の関係者約百名が見守る中盛況の内に共進会を終えた。



山羊の審査風景

このような催しを部落単独でやる例は県下でもめずらしく、町内外の畜産関係者から注目をあびている。今後とも益々畜産振興のため期待したい。

尚、各部門の優等は次の通り。

※肉用繁殖牛の部

未經産牛 仲宗根孝正

経産牛 翁長 太郎

※肥育牛の部

去勢牛 与那嶺善太郎

素牛 稲福政文

雌牛 翁長俊雄

※乳用牛の部

未經産牛 沢砥徹、15ヶ月以上

与那嶺次郎

与那嶺安正

(11/14ヶ月)

(10ヶ月未満)

※種豚の部

未經産豚 外間栄光

経産豚 外間栄光

※山羊の部

雄 与那嶺次郎

雌 外間 栄徳

町体育指導委員決まる

このほど町体育指導委員九人が決まりました。

- | | |
|-------|---------|
| 宮平光吉 | 翁長二四〇一三 |
| 呉屋博之 | 嘉手刈四四一 |
| 玉寄徹二 | 小波津三六 |
| 城間盛光 | 翁長二二〇 |
| 上原拓也 | 翁長一五七 |
| 新川千代子 | 内間一二三 |
| 翁長綾子 | 幸地二〇九 |
| 比嘉健一 | 棚原七九 |
| 大城守康 | 小橋川四五 |

在秘六十周年式典を収録

西原太郎さんが町へ寄贈



十一月十五日、本町字翁長出身の西原太郎さん(ペルー在住)が、秘六十年式典のビデオを町へ寄贈した。

七三才)から、富平町長に今年九月三十日にペルーで行なわれた在秘西原町人会創立六十周年記念式典のようを克明に収録したビデオの寄贈がありました。町では、中央公民館でそのビデオを保管し社会教育及び老人福祉関係で役立てたい予定ですが、もしご覧になりたい方は直接中央公民館にご相談下さい。ビデオは式典から余興に至るまで約二時間を全部収録している。余興は琉舞、空手、棒、古武術など多彩で最後に劇「ブーテンタウン」が上演され好評だったという。遠く異国にありながら郷里を忘れることなく芸能に励む町人会の皆さんの姿が目につくようである。

西原さんにはこの紙面をかりてお礼申し上げます。

製造業のみなさん

工業統計調査にご協力を

製造業を営むみなさん、今年も恒例の「工業統計調査」が行われます。十二月三十一日現在での調査のため、年末年始のお忙しい中を調査員がお伺いしますが、ご協力下さるようお願いいたします。

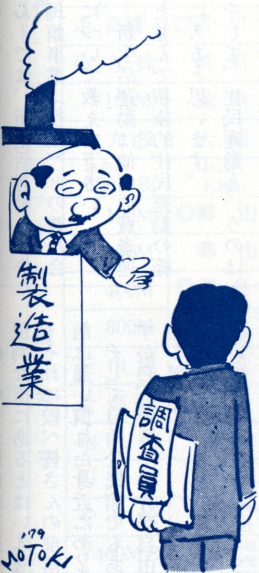
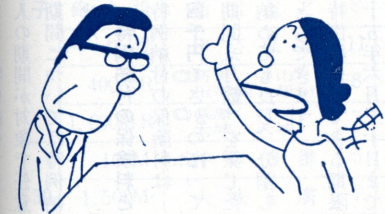
この調査によって、わが国の製造業の実態や製造活動の現状が明らかにされるほか、調査のデータは製造業のみなさんが各種製品の生産・販売プランをお立てになる場合の参考になるのをはじめ、たとえば、都市開発や下水道計画の資料となるなど、わたしたち国民生活の向上に広く活用されます。

みなさんにご記入いただいた調査票は、統計以外の目的に使われず、製造業の調査にのみ使われます。

なお、主な調査項目は、事業所名、従業者数、原材料および燃料使用額、製造出荷額、有形固定資産投資総額などです。

調査票は、統計以外の目的に使われず、製造業の調査にのみ使われます。

調査票は、統計以外の目的に使われず、製造業の調査にのみ使われます。



1070

運玉義留考

(下)

11 区 仲 田 朝 宗

(四) 義賊となり 世を騒がす

いかなる時代、いかなる社会体制のもとにおいても、万人がひとしく苦楽を分かちあえるなら、人はまさに不平や不満を口にしない。反対に、一方に無能無才の者が努力もせず、一方に栄華にふけり、他方には必死に努力しても貧苦にあえぐ者がいる世の中であるときは、当然そこに憤懣が集積する。人並み以上に知恵、才覚の持主であればあるほど、この憤懣は急速に膨張するものである。

王府の公共事業の財政の殆んどが農民の負担になっていた時代、農村の疲弊はその極にひんしていた。だから肥えた者はますます肥え太り、やせた者はいつそうやせ

細る。ちょっとしたきっかけさえあれば大事件の起る機会が十分に熟していた。運玉義留が出没したころと時を同じうして、平敷屋事件が世を騒がせたのもこのころである。

尚敬王の享保十九年、今から約二二二年前に友寄、平敷屋事件という大騒動が起った。

これは運玉義留の行動と全く同じく時の王府や蔡温一派に対する反抗であった。

和文学者の平敷屋朝敏が、その一派である友寄安乗等と相謀り、中国一辺党の蔡温一派に對し、あなたの政治は親元の大和を軽んじて、縁もゆかりもない唐(とう)を重んじ、人民を不幸に陥し入れていると批判し、享保十九年六月二十日平敷屋朝敏一派は安謝港で

極刑に処せられた。

いつの世でも政治のひずみは、貧乏な庶民が背負わなければならぬことになっている。まじめに働いても暮らしが立たぬ時、そして前途に希望が持てぬ時は、疫病のように人心が動揺する。重い税と苛酷な賦役、労働が、王府の農政、林務、土木工事などのために追いつけ追いつけ、弱き庶民が苦しめられた。

そんなとき、庶民の心の奥深いところにひそむ反抗の情念が鎌首をもたげる。

どんなに治安が確立しているときでも、浜のまさごはなんとやら、という言葉のとおりであるので、特に階級制の厳しかったころで、叛逆者の一人や二人出現しても、おかしくはないのである。

(五) 義留の最後

戦前、芝居で上演された運玉義留の最後のくだりは「王の使用する金の枕をいただきに本日参上する」と投げ文で予告し、約束の夜物々しい警備の目をかすめて、忽然と王の寝所の金の枕が消え去ったところからはじまる。そして、はたと気づいた王は床の下に動く下配を感じとり、ブスリと槍を突きさした。手ごたえがあった。騒然とする城中、しかしくまなく探しても運玉義留は見つからない。

そのとき足先を突き抜かれた運玉義留は、城壁を乗り越えて追手をまき、首里のリングムイにくれたとあるが、真実は西原の運玉森の中にかくれたのである。

ところが運玉森にかくれたことが役人の察知するところとなり、森はとうとう囲まれてしまった。進退に窮した彼は、森の中央にあるリングングムイに身を沈めた。ここが運玉義留最後の地で、現在では沖繩ゴルフ場十三番ホール付近になっている、昔の面影を

(六) わずか三〇歳で死亡

ところで運玉義留と行を共にした油喰坊主(アングクエーボージヤ)の子孫は現在糸満市真栄里にいます。屋号をフセーといい、油喰坊主はその三男で、真栄里三郎という名称であったということである。

それに忘れてはならないことは、当時はこの山にも山番なる役人がいて、山の治安を監視していたが、運玉森にも石川里之子という山番がいた。この石川里之子は、ういわけか運玉義留をかわいが

り、自分が下男として安谷屋家から引きとり、三年間みっちり武芸や礼儀作法を教えた。彼が長じて義賊になってからも、義留をかくまったりして、彼の為につくしたという。その石川里之子の屋敷跡も運玉森には、現在のところ残っている。

運玉義留の生涯は短かく、わずか三〇歳で死亡している。時が経つにつれて、歴史は忘却の彼方に押し流されて、後世の人々はねずみ小僧を脚色したものであるとか、という人々もいるが、運玉義留の活動はねずみ小僧より一〇〇年も先きのことであるので、ねずみ小僧云々は間違いであらう。

悪いことに、時に前後して西原間切桃原に大泥棒が出現し、後世運玉義留と混同されて、巷間いろいろと噂されていることはまことに残念である。

(おわり)

西原・中城青年 合同研修終る

合同研修終る

十一月十七日から十八日にかけての両日、青年会活動の強化と青年相互の交流を目的として西原町中央公民館と社会福祉センターで本町と中城の青年合同研修会が約七十人を集めて行われ盛況のうちに講演、交流会、青年会の現状報告、分科会討議、町村別分科会などの日程を終えた。

講演は十七日午後九時から一時間半、沖繩県青年団協議会長・松田政弘氏によって「地域と青年会」というテーマで行なわれ、地域青年会の組織、目的、存在価値などについて自分の体験を通して話され好評であった。

翌日「青年青年会の組織と運営」「ムラと青年会」、「なぜ女子会員の参加が少ないのか」という三つの分科会で青年相互の活発な意見が交され今後の青年会活動に向けての課題などが指摘され有意義な学習となった。

今後とも両町村青年会が深いきずなで結びつき益々青年会活動が活発になることが期待される。

西原の口説紹介

(二)

西原百姓口説

この歌は明治四十年ごろ、西原尋常小学校に勤務していた小那覇出身の玉那覇栄賀先生(屋号は前城)が作詞したという。(西原町字津花波の長嶺由光氏の話)

その当時、西原町は純農村で、住民の九五％は農業で生計をたてていました。また、文盲の青年たちも多く『毛遊び』も盛んに行なわれていました。そこで、県や各町村では農村青年たちを教育しよ

青年たちを指導して行きました。その時に、玉那覇先生は『夜学校』の啓蒙活動の一環として、この歌を作りました。(この歌は幸地の事務担任者・与那嶺栄幸氏より聞とりしたものです。)

西原百姓口説

作詞 玉那覇栄賀

わにしはらにせー!
我んや西原二才やし
あさゆきとなりゆ
朝夕仕事ぬ成行ゆ

- 委細に話さば聞ちみそり
- 一、我した男ぬ第一や
へえあさう
早く朝起きぬ出ぢし
- 我した男ぬ印さみ
- 二、二番二才達やゆう聞きよ
はるうかたにん
畑ぬ打ち方念入りよ
あさう
浅打ち、深打ちさんぐとに
- 三、三番さまさま毛作いや
ふそく
不足んぐと言いちきし
いちむ心にうみ染みり
- 四、四番休ゆる時やてん
ゆはんゆく
互に仕事ぬ話そて
はなしはなかく
話半学たみなゆし
- 五、五番雨降い台風や
ごはんあふ
綱のい仕事に念入りよ
なな
綱ぬのい方念入りよ
- 六、六番仕事やただなゆみ
くばんしやと
鍛や棒奮ん取揃ち
えはうおしといぞろ
- いひぬ手違んねらんぐと
- 七、七番節々毛作いや
しはんひちひちむく
不足んぐと言いちきて
ふそく
早くなあな夜学校かい
ゆがっこう
行ちゆるぐと
- 八、八番働ち夕暮や
ははんはたら
家の仕事んかたしきて
やしや
早くなあな夜学校かい
ゆがっこう
行ちゆるぐと
- 九、九番肥料の取扱
くばんくやし
いちむ心にうみ染みて
ちやくむく
作る毛作い念入りよ



「地域と青年会」というテーマで講演

第四回町民運動会賑う

町民の融和と健康増進を図るための行事として定着してきた第四回町民運動会が十一月四日午前九時から西原中学校グラウンドで行なわれ、チビ子から老人までの町民約二千人を集め盛況の内に終った。

つき通るような晴天に恵まれ、町老人クラブ、町婦人会、町スポーツ少年団などの協力もあって、文字通り子供から老人までの町民総出の運動会となった。



みんなで楽しい体操

七区Aが優勝

第一回町駅伝大会

町体育協会(平安恒政会長)では、十一月十一日町役場前広場で青年の交流とスポーツ振興のため各区対抗の第一回町駅伝大会を開

いた。同大会は通算で十五回目を迎えている。

正後に町役場前を十二チームの選手が一斉に出発し、高松高校前折



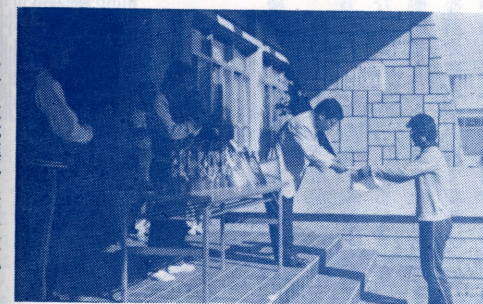
つなひき



リズム みんなで楽しくおどろ

返し三〇・二キロメートル六区間で健脚が競われたが、七区Aが二時間〇二分五秒で優勝を飾った。

尚、成績は次の通り。



◎第1回 町駅伝大会のチーム成績

順位	チーム	記録
優勝	7 区 A	2 時間 02 分 55 秒
2 位	16 区 A	2 〃 10 〃 55 〃
3 位	13 区 A	2 〃 03 〃 56 〃
4 〃	8 区 A	2 〃 12 〃 16 〃
5 〃	6 区 A	2 〃 17 〃 36 〃
6 〃	7 区 B	2 〃 19 〃 02 〃
7 〃	8 区 B	2 〃 22 〃 13 〃
8 〃	7 区 C	2 〃 30 〃 36 〃
9 〃	7 区 D	2 〃 31 〃 31 〃
10 〃	1 区 A	2 〃 33 〃 46 〃
11 〃	4 区 A	2 〃 34 〃 10 〃
	7 区 D	2 〃 51 〃 18 〃

◎第1回 町駅伝大会の区間記録

区間	選手名	チーム名	記録
1区	大城豊	7区A	26分37秒
2区	大城浩	7区A	20 〃 00 〃
3区	新垣勝	7区A	15 〃 11 〃
4区	新垣善勝	8区A	15 〃 11 〃
5区	城間良信	7区A	20 〃 15 〃
6区	新垣秀次	13区A	16 〃 12 〃
7区	与儀善一	7区A	15 〃 14 〃
8区		7区A	23 〃 04 〃

第7回 中頭郡陸上競技大会の成績

種目	順位	氏名	記録
一般男子3000MSC	1位	与那城実	10分40秒1 (大会新)
40代100M	1位	波照間用展	12秒1
50代100M	1位	池原忠英	14秒0
年令別400MR	1位	呉屋小波津城、波照間	47秒2
一般男子400MH	2位	新川善勝	1分02秒1
一般男子1600MR	2位	城間伊芸川	3分45秒5
一般女子400MR	2位	郷内間	58秒0
一般男子10,000M	3位	大城豊	37分58秒0
40代砲丸投	3位	崎原祐右	10m06
一般女子走幅跳	3位	城間則子	4m27

●中頭郡代表で県大会へ派遣

中頭郡陸上で大活躍



40代100m決勝、波照間用展さん(ゼッケン1)が優勝

三位内入賞十種目

十月二十一日、読谷村運動広場で第七回中頭郡陸上競技大会が開かれ、本町は男子

各種目の六位入賞は男子二十三種目、女子七種目で得点は男子八十九・五五、女子二十六点であり例年のない健闘を見せた。

帰ったらうがい

インフルエンザが流行している時の外出は、感染の機会が増えるだけでなく、ほこりや冷たい外気はのどを痛めます。さらに老人や妊婦、慢性的病気の人は、不必要な外出は避けた方がいいでしょう。

外出から帰ったら、すぐうがいをするように心がけてください。うがいは、のどについたウイルスや細菌を、殺す力とあります。うがいは、洗い落とすのに効果があります。

うがいは、のどを洗うのが目的です。水道の水でも十分です。水をふくんで天井を向き、ガラガラと数回やるだけでも、効果があるものです。